

コープリハビリテーション病院・老健あかねだよ!

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

中学生の進路判断の一助に 倉敷市キャリア教育推進事業へ参加

【コロナ禍によるチャレンジワークの中止】

昨今の感染状況により相次ぎ職場体験が中止となり、なんとか中学生により体験が出来ないかと中学校と市が模索していました。

そこで、体験の場所を現場から中学校に変える事で開催出来るのではと提案され、キャリア教育推進事業がスタートしました。

【倉敷市のねらいと中学校教諭からのお願い】

倉敷市は、「職業に対する理解を深め、職業観を育成することにより将来の地元就職を促進する」がねらいでした。

教諭からは、どんな人材が働き、どんな仕事をし、やりがいや厳しさなど、中学生に教えて欲しいとの事でした。

【企画内容】

我々は、病院と老健の紹介を行った後に、看護師による注射器とAEDの体験、介護福祉士による不自由な身体での食事体験及び介助、理学療法士による体力測定・筋力トレーニング・車椅子の体験を3つ企画しました。

【倉敷市立琴浦中学校からのお礼】

暑さが厳しい日々が続きますが、お変わりありませんでしょうか。

さて、先日は、お忙しい中、琴浦中学校の3年生のために講座を開いていただき、大変ありがとうございました。

生徒たちは、あれからもことあるごとに講座の話をしていく様子が見られ、印象深い活動ができたのだなど微笑ましく思っています。

これもすべて皆様の熱意あるご指導のおかげだと改めて感謝致しているところでございます。

我々もこの熱を絶やさぬよう指導を目指し、生徒たちの将来を真剣に考え、目指す進路の実現ができるように励んでいきたいと思っております。

このたびは本当にありがとうございます。ここからも暑い日が続くかと思いますが、お疲れをだされませんよう、お体ご自愛ください。

最後になりましたが、皆様のご活躍を心から祈念いたします。

【おわりに】

中学生からの手書きの感想文には、「体験はとても楽しかった」、「医療・介護の仕事をしたい」、「自分の夢を叶えたい」など、こちらが嬉しくなる内容でした。限られた時間や場所での実践ではありましたが、よい体験が企画出来てホッとしました。これからも事業は継続する事ですのでより良い内容になるよう工夫を凝らし、進路判断の一助となれば幸いです。

コープリハビリテーション病院・老健あかね
看護師 水畑拓馬
介護福祉士 玉口麻美
理学療法士 佐藤雅昭



心臓マッサージの押す向きや強さを実感



注射器で生理食塩水を吸い上げるのはじめての体験



車椅子の便利な機能に驚き



目も耳も不自由な状況での食事介助にドキドキ

コープリハ・あかねの「暮らし」支えるシステムを紹介

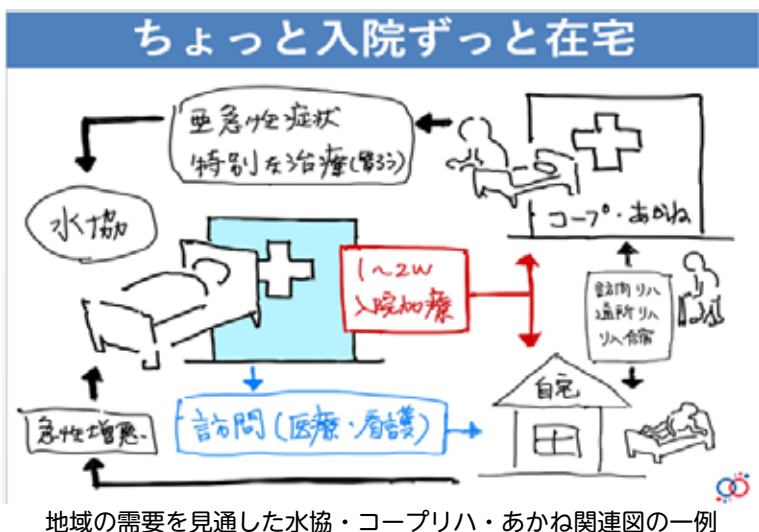
水島協同病院退院支援リンクナース学習で講演

自宅復帰に向けて患者が満足し、ご家族も心配しない生活の実現はとても大変です。

コープリハとあかねは両方で協力しつつ、入院中では安全第一の生活を提案し、自宅です残す課題は通所リハや訪問リハへ繋ぎ、退院後の暮らしも支えています。それでも、入院中や自宅で体調を崩し治

療が必要な場合があります。そんな時に頼りになるのが水島協同病院です。短期間で病気を直し、足腰が弱る前に家に戻します。

今、国からもそんな仕組みが求められています。互いの強みを活かして暮らしに貢献できる関係作りをこれからも続けていきます。



コープリハビリテーション病院

科長 佐藤雅昭

入院や入所に際して、部屋代はいただいていません。

倉敷中央高校 介護実習 於・老健あかね通所リハビリ

高校生の介護実習が6月にあかね通所リハビリで行われました。利用者様の送迎、入浴介助、排泄介助、集団体操、リハビリなどを体験する事で1日の流れを理解してもらった事ができました。

初めての実習で緊張もありコロナ禍のためゴーグル、マスクの着用でコミュニケーションを取りにくい中でしたが徐々に話しかけが出来るよう利用者様に話しかけが出来たようになっています。

利用者様も「名前覚えてたよ。また来てね。」や「もつと話しがしたいな」ととても喜ばれ学生さんと話しをする姿を見る事が出来ました。

ことが出来ました。

利用者に一生懸命に話をする姿を見て私たち職員も利用者様にもっと寄り添い、一人ひとりが楽しく過ごしていただける場所作りや、その人にあった介護をしていけるようになりたいと感じました。7月と8月には6日間の実習があります。この3日間の実習で学んだ事を次の実習で生かし頑張ってもらいたいと思います。

(老健あかね)

通所リハビリテーション
介護福祉士 東こずえ
介護福祉士 松尾裕子



あかねで良くして欲しいご自宅での不自由をモニタリング

移転5年目を 迎えて

超高齢者の独居生活の 安全と自由度の両立に 挑戦

回復期病棟に就職し2年が経ちました。患者様の在宅復帰に当初は戸惑うばかりでしたが、社会背景も考慮した関わりが少しずつ出来るようになりました。

この度、超高齢者での独居生活となる方に、まずは安全第一の車椅子移動が出来る環境作りのために何度も自宅へ訪問し、食事やトイレまで自立できる工夫を行いました。同時に、転倒リスクの伴う仏壇への移動は、訪問リハ職員へ課題を引き継ぎ、自由度の拡大に期待しました。

現在は、身の回りはほぼ自立して過ごし、仏壇への移動はバギー型歩行器で転倒せずに行けており、大変嬉しく思います。3年目には、より暮らしに貢献できるような頑張ります。



住み慣れたわが家を自分で移動できるように

ケアマネ 交流会

7月14日に水島地区のケアマネ交流会に参加させていただきました。

今回は「介護予防に焦点を当てた事例検討会」という事で、他職種が協働して利用者さんの支援内容を検討し問題解決や自立支援の促進、QOLの向上を目指すという目的でした。

参加者はケアマネージャー約50名、アドバイザーとして薬剤師、管理栄養士、リハビリ職として私が参加させていただきました。

2事例が対象でしたが、骨粗鬆症で圧迫骨折を繰り返している方へ、日常生活動作の注意点や転倒予防の運動と自己管理の方法をアドバイスしました。また、喘息や血圧管理が必要で徐々に寝て過ごすことが増えている方に、まずは座って過ごす時間を増やすための作業や役割の検討について提案しました。

薬剤師や栄養士の方からのアドバイスも聞くことができ、在宅生活を続けていくためには、リハビリだけではなく病状管理や栄養面など他職種での関わりが重要であると再認識できた良い機会でした。

(老健あかね)

訪問リハビリテーション
主任 青木麻紀



介護の本分は介添えでなく自立度の低下予防と力説する筆者(中央)

診療表		コープリハビリテーション病院		老健あかね			
外来受付時間 8:30 ~ 12:00 [086-444-3212]		[086-444-3212]		[086-446-6541]			
診療時間	外来	装具外来	歯科	短時間通所リハビリ	短期集中健幸アップ教室	訪問リハビリ	通所リハビリ
午前 9:00 ~ 12:30	14:30 ~ 15:00		午後	9:00 ~ 16:50	9:30 ~ 11:00		9:00 ~ 16:00
月				○		○	○
火	渡辺	○ (予約制)	西表 (予約制)	○		○	○
水	飯塚			○		○	○
木	太田		西表 (予約制)	○		○	○
金	香口			○		○	○
土						○	○

医療福祉相談・連携室	
相談	平日 9:00~12:00 13:30~16:30
受付時間	土曜日 9:00~12:00
	日・祝日 休み



○お問い合わせ先
倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-444-3212(代表)
受付時間 平日 9:00 ~ 16:30
土曜日 9:00 ~ 12:00
(日祝・年末年始を除く)

〒712-8057
倉敷市水島東千鳥町1-60
ホームページ: <http://coopreha.jp/>
メールアドレス: info@coopreha.jp
広報委員会
発行責任者 笹館 勝人

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。